平成30年4月5日の霧島山（新燃岳）噴火に伴う対応

平成３０年４月１０日
宮崎河川国道事務所

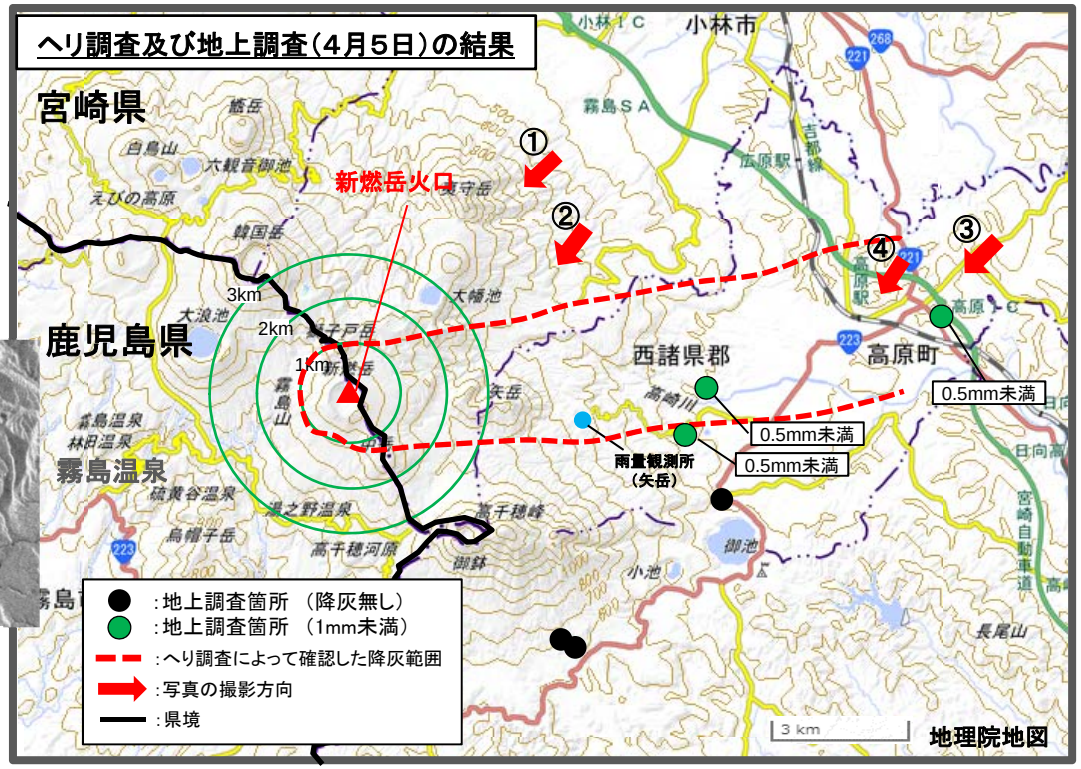
○霧島山（新燃岳）では、４月５日（木）に3月25日以来となる爆発的噴火が発生し、噴煙が一連の噴火で最高となる火口縁上約8000mまで上がったほか、火砕流が発生し、火口の中心から南東側へ約800m（火口縁から約400m）流下した。（噴火警戒レベルは3が継続）

○九州地方整備局が４月５日に実施したヘリ調査及び同日地上調査では、新燃岳の東側で降灰が確認されたが、流域を広く覆う明瞭な火山灰の堆積は認められなかった。今後も火山の状況を注視しながら観測を継続。

○４月６日に、新燃岳周辺の雨量観測所（矢岳観測所）で最大時間雨量12mm、累積雨量29mmの降水を観測した。現在のところ土石流の発生は確認されていない。

①

・前回観測時（3月28日）に比べ、溶岩流が西側斜面をさらに流下している様子が確認できる
・東側斜面への溶岩流出は確認できない



②

③

④

高原小学校付近